

印刷する場合は、次のPDFファイルを御利用下さい。

[印刷用PDFファイル](#)

建設経済情報「速報値」(11月 報告)

平成16年11月10日

企画部 技術管理課

<東北地方の現況と見通し>

16年10月における公共工事請負金額は、公団・事業団等が増加になったものの他機関が減少となったため、前年同月比25.9%減の1,318億円となった。

東北地方における建設経済の景気動向は、公共工事請負金額、建設工事受注金額、建築物着工床面積、新設住宅着工戸数のすべてが減少となっている。

16年9月の新設住宅着工戸数は前年同月比7.0%の減、建築物着工床面積は前年同月比2.7%の減、建設労働需給不足率は0.0%とバランスがとれている状況となっている。

16年10月の企業倒産は件数で前年同月比98.6%と減少となっている。負債額では前年同月比189.1%の増加となっている。
なお、建設業の倒産件数は26件と全産業で最多となっている。

< 施工 >	公共工事請負金額	建設工事受注金額	建築物着工床面積
	新設住宅着工戸数	16年度事業費等見込み額	
< 労働 >	建設労働需給の不足率		

< 倒産 >	企業倒産		
< 景気 >	企業短期経済観測	建設業景況	

施工

1. 公共工事請負金額 (16年10月実績。東日本建設業保証)

東北の公共工事請負金額計は、前年同月比で25.9%減の1,318億円となっている。

内訳は、公団・事業団等(177.4%増)が増加となっているものの、国(54.1%減)、地方公社(34.8%減)、県(31.1%減)および市区町村(20.4%減)が減少となっている。

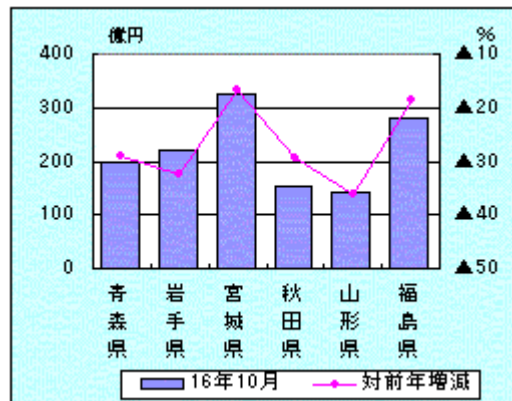
県別の前年同月比では、山形県(36.1%減)、岩手県(32.5%減)、秋田県(29.3%減)、青森県(28.9%減)、福島県(18.6%減)および宮城県(16.7%減)のすべてが減少となっている。

[→ top](#)

公共工事請負金額

単位:億円.%

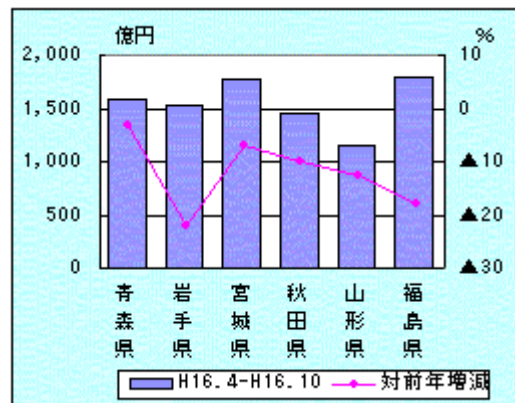
	16年10月	対前年増減
東北計	1,318	▲25.9
青森県	199	▲28.9
岩手県	220	▲32.5
宮城県	324	▲16.7
秋田県	153	▲29.3
山形県	142	▲36.1
福島県	282	▲18.6



公共工事請負金額年度内累計

単位:億円.%

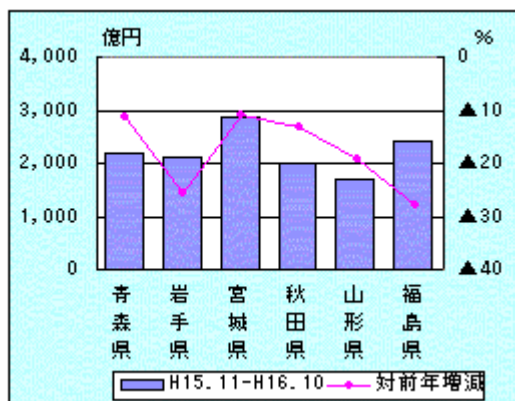
	H15.4-H15.10	H16.4-H16.10	対前年増減
東北計	10,610	9,280	▲12.5
青森県	1,641	1,586	▲3.3
岩手県	1,966	1,534	▲22.0
宮城県	1,895	1,765	▲6.8
秋田県	1,609	1,448	▲10.0
山形県	1,312	1,147	▲12.5
福島県	2,188	1,800	▲17.8

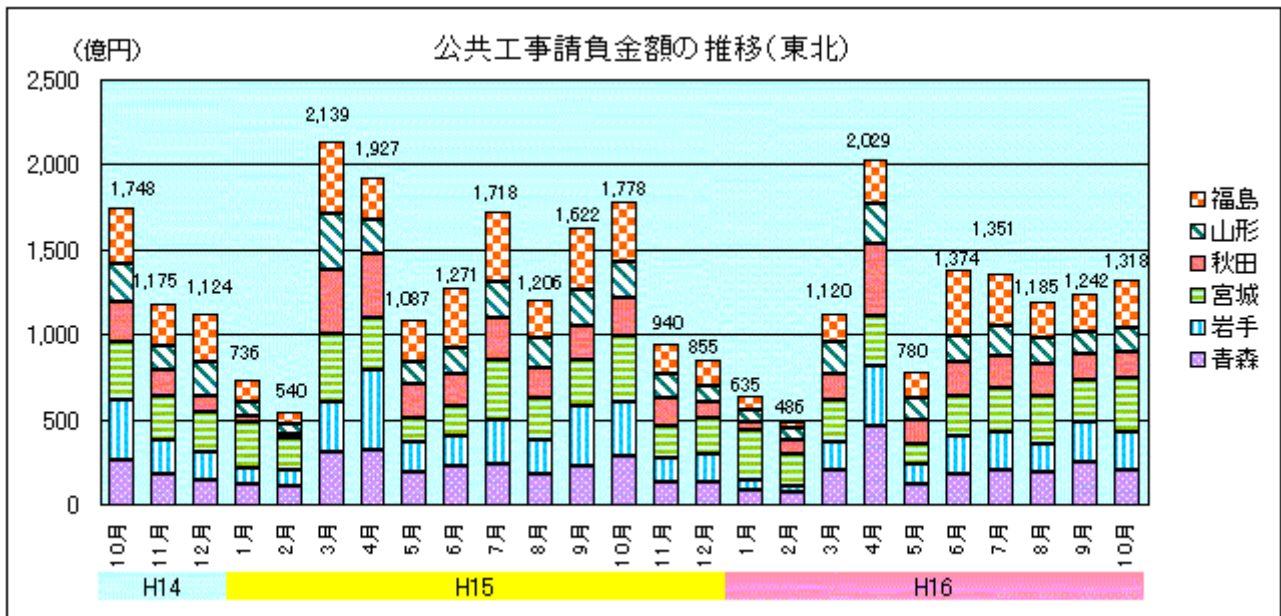


公共工事請負金額1年累計

単位:億円.%

	H14.11-H15.10	H15.11-H16.10	対前年増減
東北計	16,324	13,317	▲18.4
青森県	2,485	2,205	▲11.3
岩手県	2,827	2,104	▲25.6
宮城県	3,237	2,881	▲11.0
秋田県	2,305	1,998	▲13.3
山形県	2,114	1,707	▲19.3
福島県	3,356	2,422	▲27.8





2. 建設工事受注金額 (16年8月実績。国土交通省)

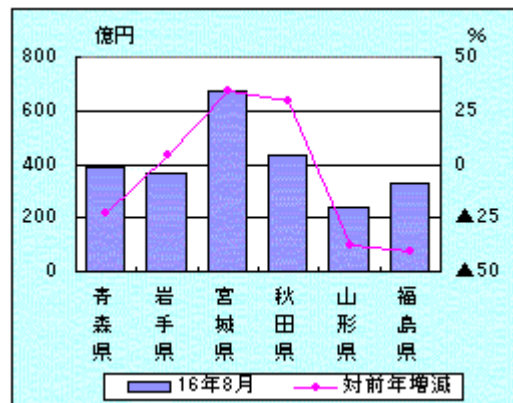
全国の受注高は4兆3,242億円で、前年同月比2.5%減となった。
 東北は前年同月比で宮城県(34.5%増)、秋田県(29.9%増)および岩手県(4.4%増)が増加となったものの、福島県(40.7%減)、山形県(37.7%減)および青森県(22.5%減)が減少となり、全体で7.3%減の2,426億円となった。

[→ top](#)

建設工事受注金額

単位:億円。%

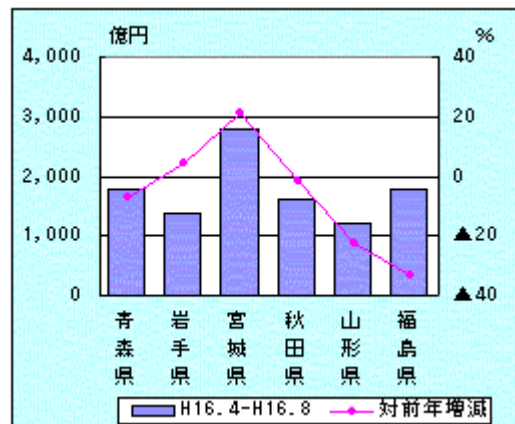
16年8月	受注高計	対前年増減
全国	43,242	▲2.5
東北計	2,426	▲7.3
青森県	389	▲22.5
岩手県	366	+4.4
宮城県	671	+34.5
秋田県	437	+29.9
山形県	236	▲37.7
福島県	328	▲40.7



建設工事受注金額年度内累計

単位:億円。%

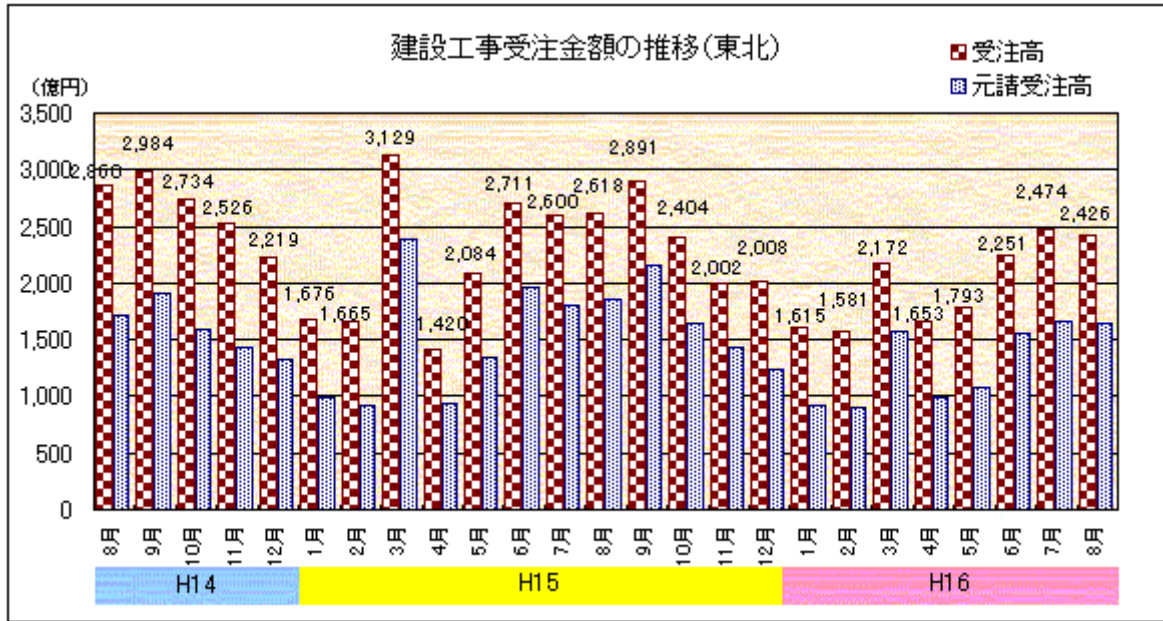
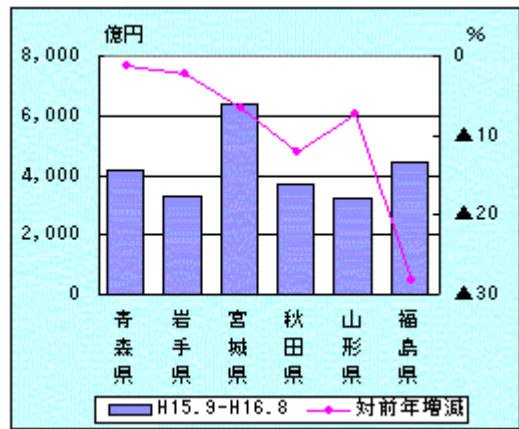
	H15.4-H15.8	H16.4-H16.8	対前年増減
全国	203,406	203,363	0.0
東北計	11,434	10,596	▲7.3
青森県	1,915	1,774	▲7.4
岩手県	1,335	1,394	+4.4
宮城県	2,315	2,806	+21.2
秋田県	1,656	1,629	▲1.6
山形県	1,569	1,221	▲22.2
福島県	2,645	1,772	▲33.0



建設工事受注金額1年累計

単位:億円。%

	H14.9-H15.8	H15.9-H16.8	対前年増減
全国	535,212	529,211	▲1.1
東北計	28,367	25,270	▲10.9
青森県	4,218	4,168	▲1.2
岩手県	3,393	3,312	▲2.4
宮城県	6,857	6,401	▲6.7
秋田県	4,198	3,692	▲12.1
山形県	3,513	3,260	▲7.2
福島県	6,187	4,437	▲28.3



3. 建築物着工床面積 (16年9月実績。国土交通省)

全国の建築物着工床面積は、前年同月比で居住用(9.6%増)、非居住用(9.5%増)いずれも増加したため、全体では9.6%増の16,921千㎡となった。

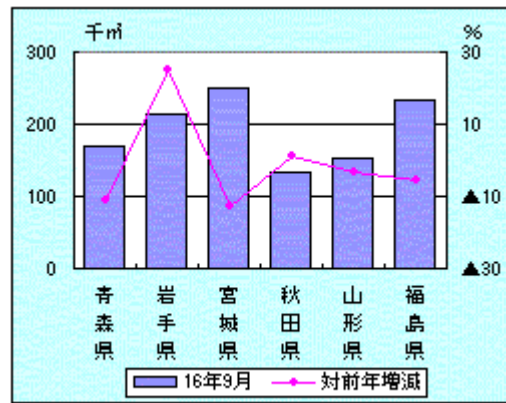
東北は前年同月比で岩手県(24.9%増)および秋田県(1.0%増)が増加となっているものの、宮城県(12.8%減)、青森県(11.1%減)、福島県(5.6%減)および山形県(3.1%減)が減少となり、全体では2.7%減の1,152千㎡となった。

[→ top](#)

建築物着工床面積

単位:千㎡,%

	16年9月	対前年増減
全国	16,921	+9.6
東北計	1,152	▲2.7
青森県	170	▲11.1
岩手県	215	+24.9
宮城県	249	▲12.8
秋田県	134	+1.0
山形県	153	▲3.1
福島県	232	▲5.6

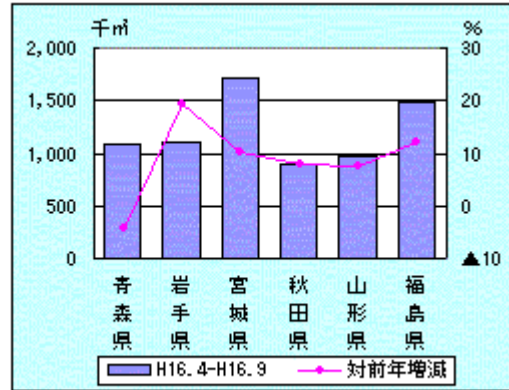


※対前年増減は㎡単位で取りまとめている。

建築物着工床面積年度内累計

単位:千㎡,%

	H15.4-H15.9	H16.4-H16.9	対前年増減
全国	86,232	96,867	+12.3
東北計	6,664	7,241	+8.7
青森県	1,137	1,088	▲4.3
岩手県	929	1,107	+19.2
宮城県	1,554	1,712	+10.2
秋田県	828	892	+7.7
山形県	897	964	+7.5
福島県	1,320	1,478	+12.0

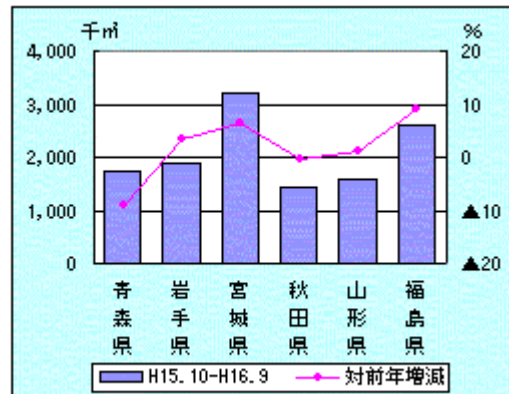


※対前年増減は㎡単位で取りまとめている。

建築物着工床面積1年累計

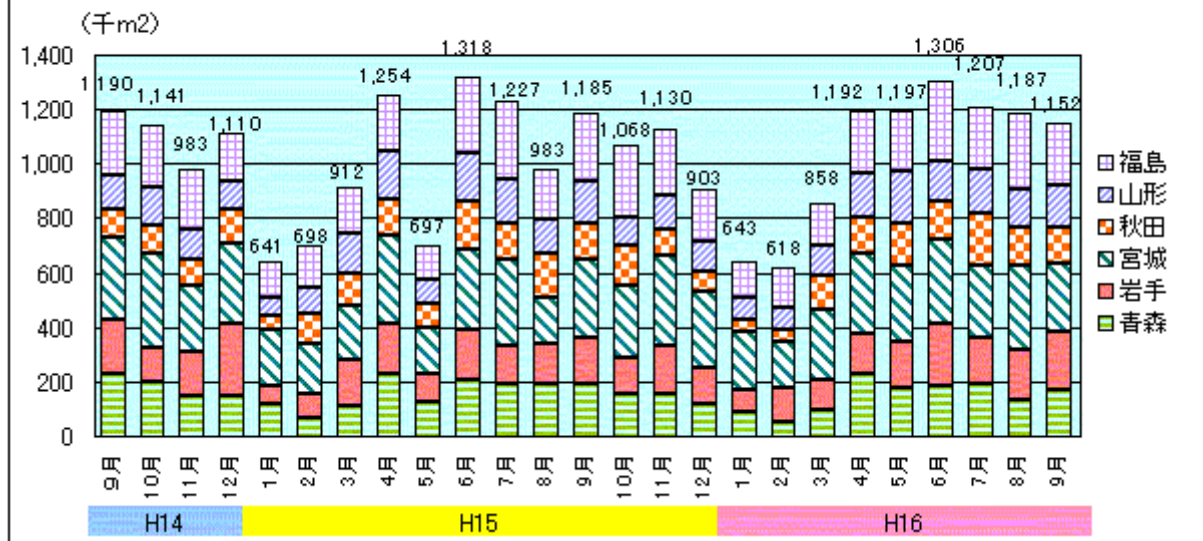
単位:千㎡,%

	H14.10-H15.9	H15.10-H16.9	対前年増減
全国	166,565	181,377	+8.9
東北計	12,149	12,461	+2.6
青森県	1,920	1,746	▲9.1
岩手県	1,812	1,876	+3.5
宮城県	3,027	3,222	+6.4
秋田県	1,435	1,427	▲0.6
山形県	1,553	1,570	+1.1
福島県	2,404	2,620	+9.0



※対前年増減は千㎡単位で取りまとめている。

建築物着工床面積の推移(東北)



4. 新設住宅着工戸数 (16年9月実績。国土交通省)

全国の新設住宅着工戸数は、前年同月比で持家(0.8%減)は減少したが、貸家(10.2%増)、給与住宅(39.6%増)、分譲住宅(23.4%増)は増加したため、全体では10.1%増の108,281戸となった。

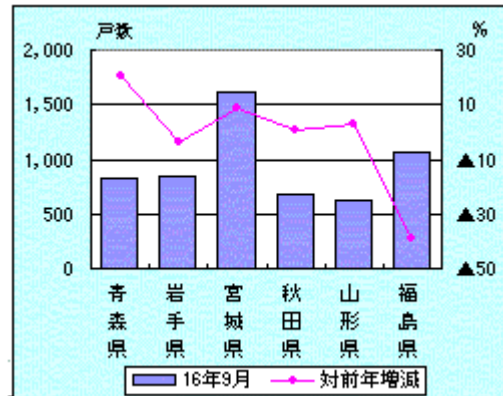
東北は前年同月比で青森県(20.2%増)、宮城県(8.4%増)、山形県(2.5%増)および秋田県(0.6%増)が増加となっているものの、福島県(38.8%減)および岩手県(3.6%減)が減少となり、全体で7.0%減の5,656戸となった。

[→ top](#)

新設住宅着工戸数

単位:戸数.%

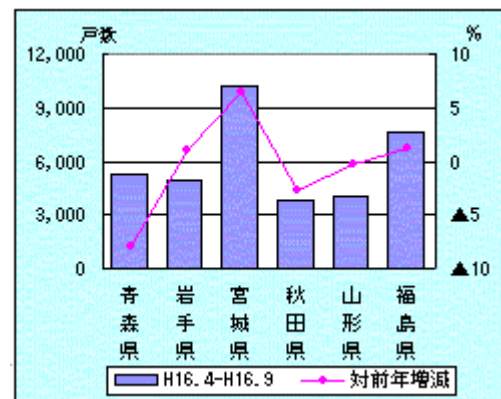
	16年9月	対前年増減
全国	108,281	+10.1
東北計	5,656	▲7.0
青森県	828	+20.2
岩手県	847	▲3.6
宮城県	1,609	+8.4
秋田県	679	+0.6
山形県	627	+2.5
福島県	1,066	▲38.8



新設住宅着工戸数年度内累計

単位:戸数.%

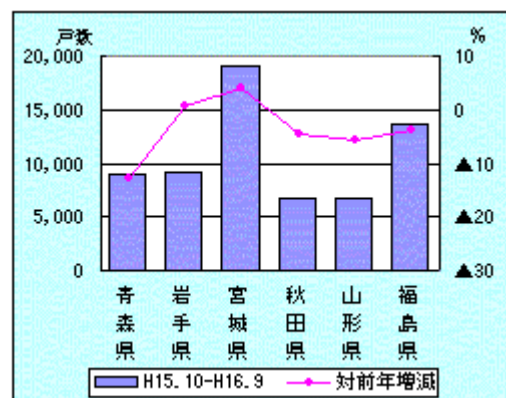
	H15.4-H15.9	H16.4-H16.9	対前年増減
全国	602,820	618,462	+2.6
東北計	35,741	35,936	+0.5
青森県	5,737	5,281	▲7.9
岩手県	4,935	4,983	+1.0
宮城県	9,827	10,253	+6.5
秋田県	3,924	3,821	▲2.6
山形県	4,023	4,008	▲0.4
福島県	7,495	7,590	+1.3



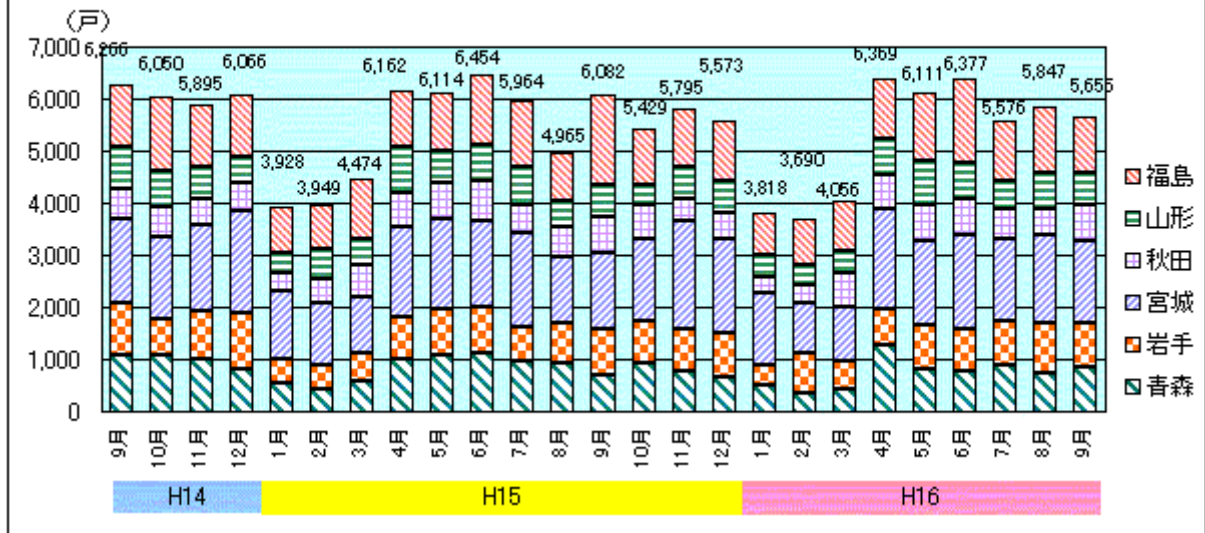
新設住宅着工戸数1年累計

単位:戸数.%

	H14.10-H15.9	H15.10-H16.9	対前年増減
全国	1,150,701	1,189,291	+3.4
東北計	66,103	64,297	▲2.7
青森県	10,181	8,885	▲12.7
岩手県	9,049	9,115	+0.7
宮城県	18,411	19,137	+3.9
秋田県	7,025	6,700	▲4.6
山形県	7,234	6,817	▲5.8
福島県	14,203	13,643	▲3.9



新設住宅着工戸数の推移(東北)



5. 16年度事業費等見込み額 (16年6月末見込額。公共事業施行対策東北地方連絡協議会)

16年度における東北全体の事業費は2兆1,498億円、前年度精算額比は9.4%減となっている。本工事費は1兆8,755億円、前年度精算額比は15.9%減となっている。

なお、上半期まで(4月~9月)の本工事費発注計画額は、1兆5,338億円となり、発注率は約81.8%となっている。

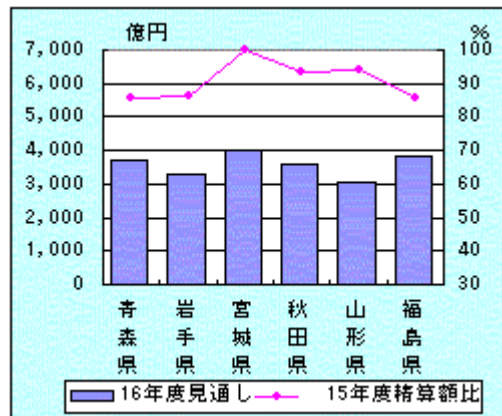
[→ top](#)

16年度事業費等見込み額

1) 事業費

単位:億円、%

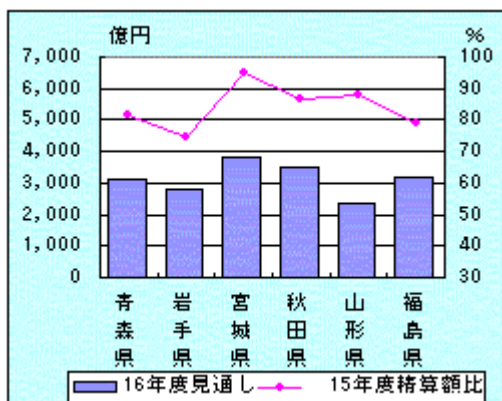
	16年度 見通し	15年度 精算額	15年度 精算額比
東北計	21,498	23,724	90.6
青森県	3,693	4,304	85.8
岩手県	3,272	3,784	86.5
宮城県	4,033	4,037	99.9
秋田県	3,590	3,847	93.3
山形県	3,080	3,277	94.0
福島県	3,830	4,475	85.6



2) 本工事費

単位:億円、%

	16年度 見通し	15年度 精算額	15年度 精算額比
東北計	18,755	22,307	84.1
青森県	3,113	3,805	81.8
岩手県	2,797	3,763	74.3
宮城県	3,842	4,057	94.7
秋田県	3,482	4,014	86.7
山形県	2,366	2,683	88.2
福島県	3,155	3,985	79.2



労働

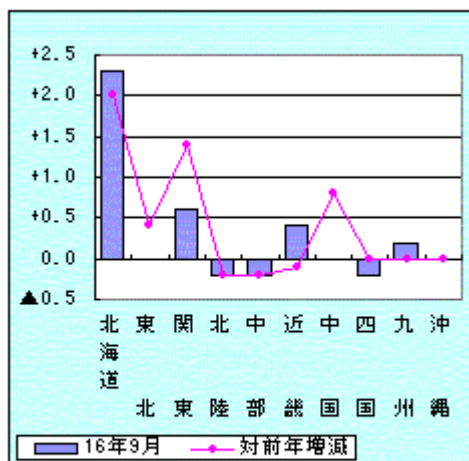
1. 建設労働需給の不足率 (16年9月調査。国土交通省)

全国8職種計の不足率(原数値)は、0.4%と不足傾向となっている。
 東北管内における不足率(原数値)も、0.0%とバランスがとれた状態となっている。

[→ top](#)

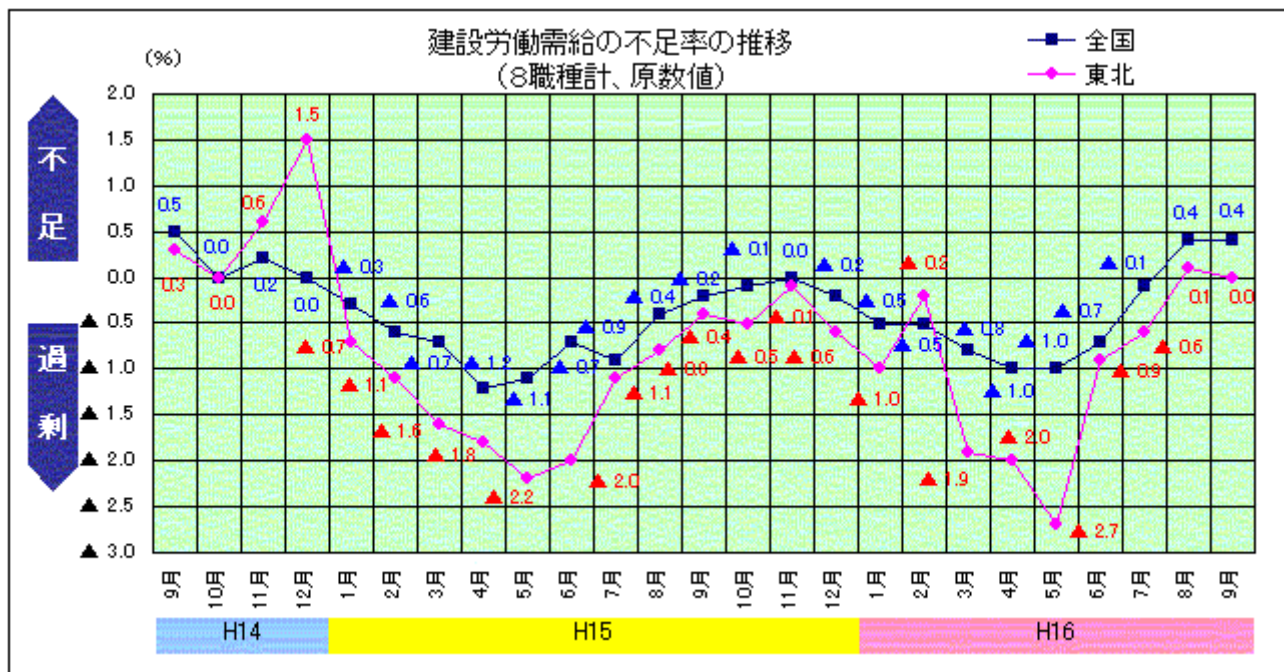
建設労働需給の不足率(8職種計。%)

	16年9月	対前年増減
全国	+0.4	+0.6
北海道	+2.9	+2.0
東北	0.0	+0.4
関東	+0.6	+1.4
北陸	▲0.2	▲0.2
中部	▲0.2	▲0.2
近畿	+0.4	▲0.1
中国	0.0	+0.8
四国	▲0.2	0.0
九州	+0.2	0.0
沖縄	0.0	0.0



<備考>

- 1)年月欄のプラスは不足、マイナス(△印)は過剰。原数値
- 2)対前年増減欄のプラス(+)は不足の方向へ、マイナス(-)は過剰の方向に変化。
- 3)8職種とは型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)、電気、配管工。



倒産

1. 企業倒産 (16年10月実績。負債総額1,000万以上。東京商工リサーチ)

東北の企業倒産状況は件数において前年同月比98.6%の73件と減少している。県別では、青森県(166.7%)、宮城県(112.5%)が増加、秋田県(63.6%)、福島県(83.3%)、山形県(88.9%)および岩手県(90.9%)が減少となっている。

負債額では岩手県(16.0%)、山形県(21.3%)および秋田県(50.4%)が減少、青森県(937.7%)、福島県(264.5%)、宮城県(172.9%)が増加となり全体でも189.1%増加している。

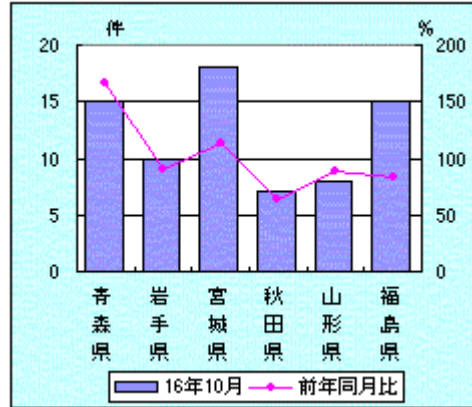
なお、建設業の倒産件数は前年同月比86.7%となっており、全産業で最多の26件となっている。

[→ top](#)

企業倒産状況

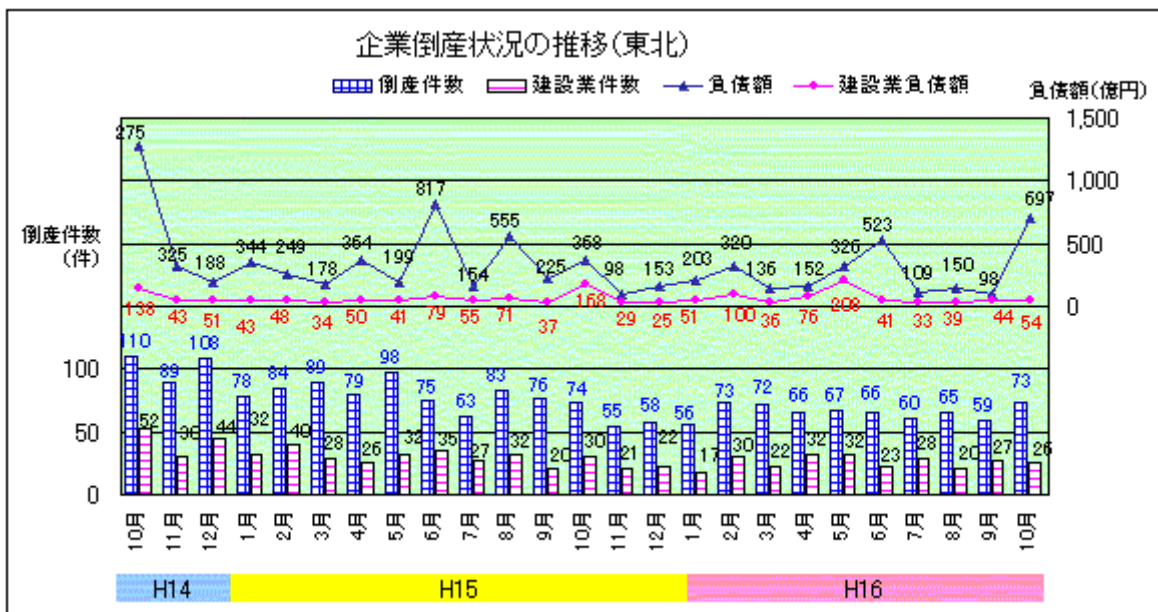
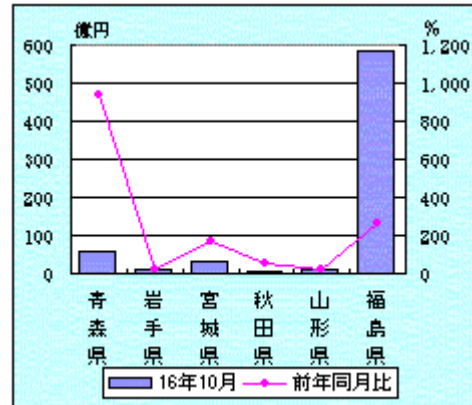
1) 件数

	16年10月	前年同月比
東北計	73	98.6
青森県	15	166.7
岩手県	10	90.9
宮城県	18	112.5
秋田県	7	63.6
山形県	8	88.9
福島県	15	83.3
東北計のうち建設業	26	86.7



2) 負債額

	16年10月	前年同月比
東北計	697	189.1
青森県	57	937.7
岩手県	10	16.0
宮城県	29	172.9
秋田県	5	50.4
山形県	11	21.3
福島県	584	264.5
東北計のうち建設業	54	32.0



企業倒産件数年度内累計

	単位:件。%		
	H15.4-H15.10	H16.4-H16.10	対前年増減
東北計	548	456	▲16.8
東北計のうち 建設業	202	188	▲6.9

企業倒産件数1年累計

	単位:件。%		
	H14.11-H15.10	H15.11-H16.10	対前年増減
東北計	996	770	▲22.7
東北計のうち 建設業	376	300	▲20.2

企業倒産負債額年度内累計

	単位:億円。%		
	H15.4-H15.10	H16.4-H16.10	対前年増減
東北計	2,682	2,055	▲23.4
東北計のうち 建設業	501	495	▲1.2

企業倒産負債額1年累計

	単位:億円。%		
	H14.11-H15.10	H15.11-H16.10	対前年増減
東北計	3,966	2,965	▲25.2
東北計のうち 建設業	720	736	+2.2

景気

1. 企業短期経済観測 (2004年9月調査。東北地区6県。日本銀行仙台支店)

☆☆ 2004年9月調査が最新のデータとなっております。10月報告から内容は同じです。 ☆☆

1) 業況判断

足もとは、製造業(前回+7→今回+10)、非製造業(同▲32→同▲28)とも小幅の改善となり、全産業では「悪い」超幅が若干縮小(同▲17→同▲14)。

もっとも、先行きは、製造業が「悪い」超への転化(今回+10→先行き▲1)を予想していることから、全産業では若干の「悪い」超幅拡大を予想(今回▲14→先行き▲17)。

製造業は、需要好調な鉄鋼(前回比+18%ポイント)、一般機械(同+17%ポイント)の改善を中心に、全体では「良い」超幅が拡大(同+3%ポイント)。

先行きは、デジタル関連需要の先行き不透明感の台頭から、全体では「悪い」超への転化を予想。

非製造業は、猛暑効果・新車投入効果を背景とした卸・小売業の改善(前回比+6%ポイント)から、全体では「悪い」超幅が縮小(同+4%ポイント)。

先行きは、建設・不動産が悪化を見込んでいるものの、卸・小売が引き続き改善を予想しているため、全体では横這いを予想。

(参考)

主な変化業種

製造業

改善業種: 鉄鋼、一般機械、繊維

悪化業種: 精密機械

非製造業

改善業種: 卸・小売

悪化業種: 運輸

2) 売上高・経常利益

2004年度の売上高は、前回調査比小幅の上方修正とな